

②京浜3港統合計画への国のサポートについて

京浜3港の連携についての経緯

広域連携強化について、3港の港湾管理者による基本合意書の締結(平成20年3月21日)

- 将来のポートオーソリティの設立を視野に入れながら、共同で広域連携の仕組みづくりの検討に着手
- 連携して取り組む課題
 - ①港湾コスト低減による国際競争力の強化
 - ②港湾利用手続きの統一化、簡素化による利便性の向上
 - ③内貿振興、内陸部の物流体系を踏まえた国内ハブ機能の強化
 - ④東京湾全体を視野に入れた合理的かつ効果的な、施設及び機能の配置
 - ⑤環境対策、水上交通網形成、震災対策など広域的課題への対応
 - ⑥国制度の改善、国からの重点投資の確保
- 京浜港共同ビジョンの策定

3港の港湾管理者による国への要望活動(平成20年7月17日)

- ①3港の一体性を強化するための支援
- ②港湾コスト低減による国際競争力の強化
- ③内貿振興、内陸部の物流体系を踏まえた国内ハブ機能の強化
- ④東京湾全体を視野に入れた合理的かつ効果的な、施設及び機能の配置
- ⑤環境対策など広域的課題への対応
- ⑥京浜港の整備促進

3港の港湾管理者による共同ポートセールス(於:長野県松本市)(平成20年9月3日)

「京浜港広域連携推進議員連盟」設立総会開催(平成20年9月18日)

京浜3港広域連携に係る三首長会談(平成20年9月18日)

- 広域連携推進体制の整備
 - ・京浜港広域連携推進会議(仮称)の設置(平成20年11月)
 - ・京浜港経営協議会の設置
- 基本合意に基づく事業の実施
 - ・はしけ輸送の拡大による環境対策(平成20年11月)
 - ・3首長によるトップセールスの実施(平成21年2月)
 - ・コンテナ船入港料の一元化(平成21年4月)
- 京浜港共同ビジョンの策定(～平成21年度)
 - ・京浜港の港湾経営と整備方針の策定
 - ・ポートオーソリティの検討

港湾間連携についての国の取組経緯

「港湾の開発等に関する基本方針」に港湾相互間の連携を追加(平成12年3月)

港湾港を改正し、港湾管理者が定める港湾計画の指針となる「港湾の開発等に関する基本方針」の記載事項として、「経済的、自然的又は社会的な観点からみて密接な関係を有する港湾相互間の連携の確保に関する基本的な事項」を追加。

スーパー中枢港湾指定に係る目論見書に広域連携項目を規定(平成14年12月)

スーパー中枢港湾の指定を検討する港湾を募集。この際、指定を希望する港湾管理者に提出を求める目論見書の骨子の項目として、「広域連携の内容」を明記。

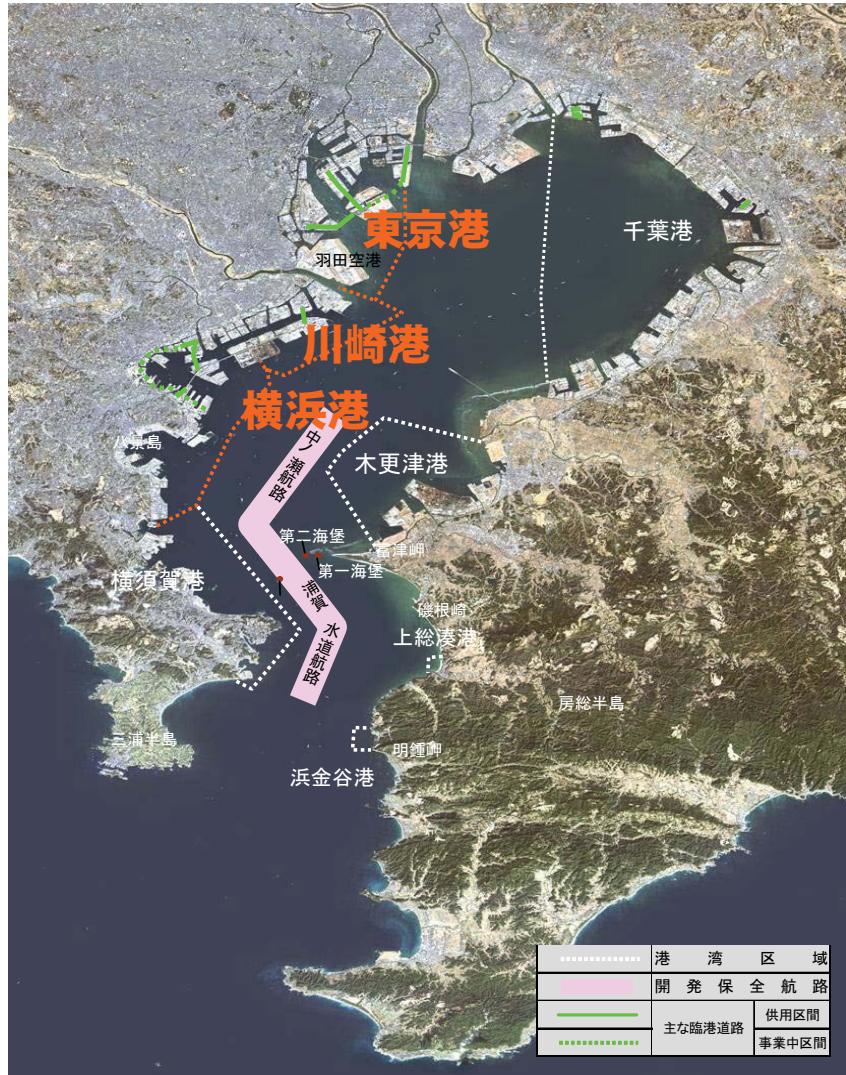
スーパー中枢港湾指定(平成16年7月)

国土交通大臣が、「京浜港」、「伊勢湾」、「阪神港」を「スーパー中枢港湾」に指定。

京浜港物流高度化推進協議会設立(平成18年6月～)

京浜港を含む東京湾における物流とその背後圏内陸部物流の高度化を目指し、広域かつ環境に優しい物流体系の構築のための取組を推進するため、物流事業者、荷主、学識経験者、関係行政機関等多様な主体の参加による協議会を設立し、取組を実施。

東京港・横浜港・川崎港のコンテナ取扱個数



1980年ランキング		
順位	港湾名（国名）	万TEU
1	ニューヨーク（米国）	195
2	ロッテルダム（オランダ）	190
3	ホンコン（中国）	146
4	神戸	146
5	高雄（台湾）	98
6	シンガポール	92
7	サンファン（プエルトリコ）	85
8	ロングビーチ（米国）	82
9	ハンブルク（ドイツ）	78
10	オークランド（米国）	78
11	シアトル（米国）	78
12	アントワープ（ベルギー）	72
13	横浜	72
14	ブレーメン／ブレーマーハーフェン（ドイツ）	70
15	基隆（台湾）	66
18	東京	63
39	大阪	25
46	名古屋	21

2006年ランキング		
順位	港湾名（国名）	万TEU
1	シンガポール	2,479
2	ホンコン（中国）	2,354
3	上海（中国）	2,171
4	深圳（中国）	1,847
5	釜山（韓国）	1,204
6	高雄（台湾）	977
7	ロッテルダム（オランダ）	965
8	ドバイ（アラブ首長国連邦）	892
9	ハンブルク（ドイツ）	886
10	ロサンゼルス（米国）	847
11	青島（中国）	770
12	ロングビーチ（米国）	729
13位相当	東京+横浜+川崎	722
13	寧波（中国）	707
14	アントワープ（ベルギー）	702
15	広州（中国）	660

三港をあわせると

23	東京	397
28	横浜	320
33	名古屋	275
38	神戸	241
44	大阪	223
263	四日市	16
357	川崎	5

出典:CONTAINERISATION INTERNATIONAL YEARBOOK